



令和元年6月25日

北海道各地の魅力ある漁業地域づくりを表彰

～「北海道マリンビジョン21コンテスト2018」受賞地域を表彰～

「北海道マリンビジョン21コンテスト2018」の表彰式を、北海道マリンビジョン21促進期成会総会に併せて下記のとおり執り行います。

このコンテストは、地域マリンビジョンの実現に貢献する優れた活動等を表彰し、これにより魅力ある漁業地域づくりに寄与することを目的に「北海道マリンビジョン21促進期成会」が実施しているものです。（受賞地域は別紙を参照ください）

記

日時： 令和元年7月2日（火）14：00～17：00

場所： ホテルポールスター札幌 2階ポールスターホール（札幌市中央区北4条西6丁目）

議題： ①会長挨拶、来賓の紹介と挨拶 ②コンテスト表彰、受賞地域の取組事例報告
③総会議事 ④講演

※ 期成会総会は取材可能となっています。取材を希望される報道関係の方は、総会の開始10分前までに開催場所へ直接お越しください。

なお、「北海道マリンビジョン21コンテスト2018」表彰式（主催：北海道マリンビジョン21促進期成会、後援：北海道開発局）は、14：20頃を予定しております。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

農業水産部 水産課 水産企画官 星 道太（内線5594）

農業水産部 水産課 漁港漁村係長 小川 瑛司（内線5579）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



北海道マリンビジョン21コンテスト

「北海道マリンビジョン21促進期成会（※）」では、各地域で策定された地域マリンビジョンの実現に貢献する優れた取組を表彰する「北海道マリンビジョン21コンテスト」を開催しています。表彰された取組の更なる推進、他地域への活動の波及を図り、活力ある北海道水産業・漁業地域の実現を目指しています。

表彰の対象は、地域マリンビジョンの実現に向け、地域マリンビジョンに計画された取組を着実に実行し、他地域への波及や手本となり、特に持続性が期待される取組を実施した地域を表彰する「優良賞」、優良賞のうち最も優良と評価されるものを表彰する「最優良賞」、地域マリンビジョンに計画された取組であるが、発展途上なものであり、支援を受けることでその発展性や持続性が期待される取組を実施した地域を表彰する「奨励賞」となっています。

◇最優良賞

- ・「根室地域(歯舞地区)マリンビジョン協議会」～知名度向上のための歯舞水産物のブランド化推進(トレーサビリティの構築)～

◇優良賞

- ・「苫前地域マリンビジョン協議会」～観光拠点を活用した地場産品販売と雪氷熱活用のPR～
- ・「寿都地域マリンビジョン協議会」～水産業振興の目指す姿～

◇奨励賞

- ・「遠別地域マリンビジョン協議会」～デジタル人材育成プログラムとの連携取組(遠別農業高校との連携)～
- ・「福島地域マリンビジョン協議会」～未利用水産資源の利活用～
- ・「根室地域(落石地区)マリンビジョン協議会」～自然共生型エコツーリズムネットワークの形成～

(※) 北海道マリンビジョン21促進期成会

地域マリンビジョンの円滑な実施をもって、北海道マリンビジョン21の実現を図っていくため、各地域間の情報交換、交流及び広報活動を行い、魅力ある漁業地域づくりに寄与することを目的に平成8年度に設立。

会員は、地域マリンビジョンを策定した市町村及び漁業協同組合で、会員数は現在30市町・32漁業協同組合。会長は福士敦朗苫前町長、事務局は苫前町が務めている。

最優良賞

「根室地域（歯舞地区）マリンビジョン協議会」 ～知名度向上のための歯舞水産物のブランド化推進 （トレーサビリティの構築）～

【協議会の概要】

「根室地域（歯舞地区）マリンビジョン協議会」は、地域水産物のブランド化を図り、水産業はもとより地域経済や社会の活性化を目指しています。

特に、歯舞水産物ブランド化を中心テーマに位置付け、ブランド化への取組を通じた漁業振興による地域の活性化に向けて関係者が一体となって取り組み、活気のある地域づくりを目指しています。

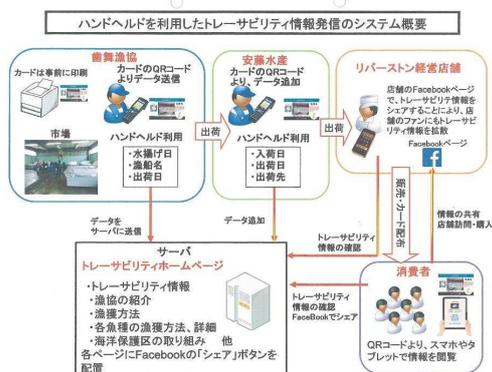
【取組概要と選定理由】

新たな地域ブランドとして「金たこ（活たこ）」を確立させたことで、消費者からの需要が高く、高付加価値化や価格の安定化が図られました。本年度は品質管理の徹底に重点を置き、トレーサビリティの確立に向け、加工業者や関西圏の居酒屋と連携し、本格導入に向けた現地調査を実施しました。

現地調査では、「流通過程を把握することが出来ること」、「活かままの状態で加工業者へ出荷されていること」などの点が、協力店舗から高く評価されました。

また、モニタリングとして消費者へ感想を聞いたところ、「非常に鮮度も良く、歯ごたえも柔らかいため、普段、たこを口にしない子供も『金たこ』であれば美味しく食べられる」との評価をいただきました。

これらの取組は、地元水産物のPRと販路拡大に繋がり、低迷する水産物の魚価や漁業者所得の向上に寄与するとともに、地元水産業の振興の取組として他地域マリンビジョンへのモデルとなることが高く評価されました。



「金たこ」トレーサビリティシステム



関西圏の居酒屋での
消費者調査の様子



優良賞

「苫前地域マリンビジョン協議会」

～観光拠点を活用した地場産品販売と雪氷熱活用のPR～

【協議会の概要】

「苫前地域マリンビジョン協議会」は、苫前町の街づくり推進計画の核である「シーフロントパークとままえ整備構想」と連携して、臨海部の苫前夕陽ヶ丘地区に都市との交流拠点を創出し、地域産業が相互に協働・連携した取組を展開して、水産業を核とした、多くの来訪者との交流機会に恵まれた活力と賑わいのある環境の形成を目指しています。

【取組概要と選定理由】

観光拠点施設である「とままえ温泉ふわっと」に併設する道の駅において、農水産物の直販に加え、雪氷熱を利用した荷さばき所のPR（チラシ配布等）を実施しました。

また、荷さばき所で鮮度保持された水産物の箱にロゴマークを使用し、差別化を図るとともに、当町のイベントである「エビ籠オーナーin 苫前」においては、エビの箱詰めの際、発泡スチロールに雪氷熱エネルギーについてのチラシを貼付し、PRを行いました。

さらに、「とままえ温泉ふわっと」のレストランで提供されている「甘エビ丼」のメニュー表に、雪氷熱を活用して鮮度保持している旨の表記を行い、レストラン利用者に雪氷熱エネルギーをPRしています。

これらの取組は、全国的にも珍しい取組となっている雪氷熱を利用した水産物の鮮度保持と地域水産物の販売PRとの連携であり、先駆的・独創的な取組として高く評価されました。



「とままえ温泉ふわっと」レストラン・メニュー



荷さばき所における雪氷熱の利用状況

優良賞

「寿都地域マリンビジョン協議会」

～水産業振興の目指す姿～

【協議会の概要】

「寿都地域マリンビジョン協議会」は、山・川・里・海がコンパクトにまとまった特徴的な自然を活かしつつ、水産業を核として地域産業や他産業との広域・異業種連携を通じて、「寿都・後志ツーリズム交流文化圏」の形成を目指しています。

【取組概要と選定理由】

官学が連携した水産振興として、平成 30 年度はホタテ・カキ養殖漁場環境評価やアサリ増養殖、漁港の稚仔魚保育機能などを研究し、資源管理や増養殖に継続して取り組んでいます。

また、漁業の担い手を確保するため、研修生への生活支援を盛り込んだ町独自の就業者研修支援事業（長期研修）に取り組み、6 名の研修生が制度を活用しながら漁業に従事しています。

さらに、「生炊きしらす佃煮」の原料である主要魚種のイカナゴを「生しらす」として町の新たな特産品とすべく、町・漁協・観光物産協会・町内飲食店が戦略を練り、「生しらすのパック詰め」の販売や「生しらす丼」の提供に取り組みました。

これらの取組は、水産業の振興と地域経済の活性化の取組として、他地域マリンビジョンへのモデルとなる総合的な取組であることが高く評価されました。



寿都町内の実験施設での研究



大学生による研究成果報告会



町内飲食店による
生しらす丼の提供

奨励賞

「遠別地域マリンビジョン協議会」 ～デジタル人材育成プログラムとの連携取組 (遠別農業高校との連携)～

【協議会の概要】

「遠別地域マリンビジョン協議会」は、農林水産業の連携により、北海道のモデルとなる環境にやさしいクリーンな産地形成を目指すとともに、地域資源を有効活用し、クリーンな農林水産物のハーモニーで地域の元気と食の安全・安心を支える地域を目指しています。

【取組概要と選定理由】

「Yahoo!」のデジタル人材育成プログラムの一環で遠別農業高校生徒を対象に、地域に埋もれている魅力を発掘し、発信する人材を育てることを目的に「Yahoo!」から高校へ講師を派遣し、マーケティングの基礎からネット広告配信、ネットショップサイトの運営を指導しました。

また、地元のホタテ・タコの入った、えんべつコロッケや遠別産のミズダコなどの商品を生徒のデジタル教材として活用しネットショップで販売を行いました。

これらの取組は、地域漁業に関する知識を得る良いきっかけとなり、過疎地域に住んでいても世界中の人に商品を届けられるグローバルな人材育成に寄与する取組として大いに期待されるものであり、関係者の一層の連携により発展や持続性が期待される取組として評価されました。



Yahoo!から派遣された講師による指導



インターネット広告に掲載する写真を撮影

奨励賞

「福島地域マリンビジョン協議会」

～未利用水産資源の利活用～

【協議会の概要】

「福島地域マリンビジョン」は海峡（うみ）の恩恵にあずかり、先人から培われてきたコンブ養殖やウニ・ナマコ養殖のつくり育てる漁業とスルメづくり等の水産加工業を中心に、強くなり続ける地域を実現し、先進技術や情報を有する大学等との連携を糧にあくなき挑戦とおしめない努力を続け、地域の良いものを広くPRし、北海道の漁村の先駆けとなるような地域を目指しています。

【取組概要と選定理由】

未利用となっていた養殖コンブ漁業で生じる間引きコンブを惣菜原料として活用していましたが、さらなる規模拡大を図るため、民間企業が主体となり地元福島町に加工施設を整備しました。

乾燥加工の施設が整備され、これまでより大規模に間引きコンブの加工が可能となり、漁業者の協力をこれまで以上に得ることが出来ました。また、加工施設が整備されたことにより10数名の雇用が確保されました。

これらの取組は、未利用水産物の有効活用が、新たな産業の創出となり地域の雇用に繋がることが期待され、民間企業とのさらなる連携により発展や持続性が期待される取組として評価されました。



間引きコンブ加工施設



間引きコンブ加工施設の記事

奨励賞

「根室（落石）地域マリンビジョン協議会」 ～自然共生型エコツーリズムネットワークの形成～

【協議会の概要】

「根室（落石）地域マリンビジョン」は、周辺地域の独特の自然環境・景観を活用しつつ、エコツーリズム等による交流を契機とした「顔」の見える流通活性化や増養殖による沿岸資源拡大による地域振興を目指しています。

【取組概要と選定理由】

生態系保護・自然景観保全のため、地域住民一体となった海浜清掃活動や地域の貴重な観光資源である高山植物や野生馬、野鳥の宝庫「ユルリ島」の清掃活動を行い、環境保全を図りました。また、生態系を守っているとされる野生馬の高齢化を懸念して、根室・落石地区と幻の島ユルリ島を考える会が実施主体となったクラウドファンディングにおいて集まった寄付金により、島内に馬を3頭放牧し、生態系維持の推進を図りました。

これらの取組は、地域の資源である自然環境・景観の保全が図られ、他団体との連携により貴重な生態系の保護に繋がることが期待され、関係者の支援により発展や持続性が期待される取組として評価されました。



地元住民によるユルリ島の清掃活動



クラウドファンディングにより
ユルリ島に放牧された馬